

# ライフステージに合わせた経営の構築

## ～持続的地域農業の推進！川西で次代をつなぐ～

対象地域：美深町川西地区（7戸1法人）

川西地区は、町内でも高齢化が進み、後継者も不在となっている。地域を存続させていくためには、長く農業を継続できる仕組みづくりと、新たな担い手を確保する必要がある。そこで、軽労働化、及び令和2年に就農した新規参入者が地域へ定着できるような取り組みを行った。その結果、地域の生産性は増加しつつ、軽労働化に向けて取り組みが実施された。

### 1 課題の背景

#### 酪農

- ◆戸数2戸と1法人、平均年齢63.3歳  
平均経産牛飼養頭数90頭  
**後継者不在**

#### 耕種（水稻・野菜等）

- ◆戸数5戸（1戸が令和2年に新規就農）  
平均年齢66.0歳、平均耕地面積8.0ha  
**後継者不在**

**このままでは、地域存続の危機！**

農業者の意向

**軽労働化と経営の安定**



- ★ 取り組み項目
  - ・作業の省力化
  - ・新規就農者の経営の早期安定化
  - ・かぼちゃ収穫作業の実態把握

### 2 活動の経過

#### ◎軽労働化に向けた飼養管理、収穫作業の見直し



飼養管理改善の提案

- ★ 乳検情報を活用した飼養管理改善
- ★ 1番牧草の適期刈り取り支援
- ★ 飼料用とうもろこしの栄養価向上

#### ◎地域農業維持に向けた検討



労働負担の聞き取り調査

#### ◎軽労働化に向けた作物栽培方法の見直し



省力化栽培の情報提供

- ★ 農作業省力化の取り組み支援
- ★ 土壌診断による酸度矯正
- ★ かぼちゃの軽労働化実証ほ設置・調査
- ★ 実証ほ現地研修会の開催



収穫時の労働調査

- ★ 新規就農後の経営安定化に向けた栽培技術支援
- ★ かぼちゃ収穫に関する労働負担の実態把握

### 3 活動の成果

#### ◎軽労働化に向けた飼養管理、収穫作業の見直し

##### ◇ 乳質が改善！

搾乳手順の見直し、乳検を活用した疾病牛の早期発見などにより、夏場の体細胞数が減少



乳房炎減少で搾乳作業の負担が軽減

##### ◇ 良質粗飼料生産

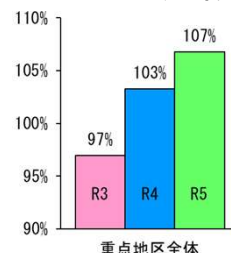
牧草の適期刈り取り、飼料用とうもろこしの早生品種導入により、良質粗飼料を確保



牧草成分の情報提供

乳量増加や濃厚飼料削減に期待

##### ◇ 出荷乳量(は増加傾向



重点地区全体 出荷乳量の変化 (R2年対比)

#### ◎軽労働化に向けた作物栽培方法の見直し

##### ◇ かぼちゃ栽培の軽労働化

除草の省力化を評価している農業者が多く、美深町内での黒マルチ使用状況は昨年より増えた (R4: 25%→R5: 38%)。

##### 生分解性黒マルチの活用状況と評価

農業者	聞き取り調査結果				感想
	使用状況	実証ほ	雑草抑制	省力化	
D	大部分	○	5	5	雑草がなくて楽だ
E	全面積	-	5	5	値段は高いが雑草を抑えられるなら良い
F	大部分	○	5	5	生育はあまりかわらないのでは
G	なし	-	-	-	初期生育が心配・・・
H	全面積	-	5	5	雑草がなくて楽だ

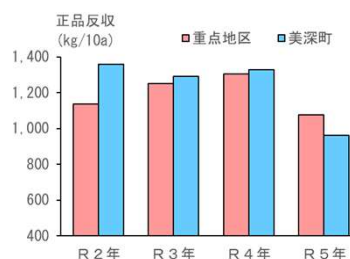
評価の値 5: 優れる 4: やや優れる 3: 同等 2: やや劣る 1: 劣る



現地研修会の開催

##### ◇ かぼちゃ栽培の見直し

土壌pHの矯正、現地研修会での情報提供などにより、かぼちゃの病気や腐敗が美深町全体より少なくなった。



かぼちゃの反収推移

R5反収 (前年対比)  
重点地区: 82%  
美深町: 72%

#### ◎地域農業維持に向けた検討

##### ◇ 新規就農者の経営の早期安定化、地域への定着

今年からそばのは種を自分で行うなど少しずつではあるが、自信を持って営農できつつある。



地域へ定着してきている

##### ◇ かぼちゃ収穫に関する労働負担の実態把握

##### ほ場での作業時間と負担度 (10aあたり)

農家名	延べ時間 (hr)	作業負担度	備考
D	8.1	29.4	へた切り作業除く
E	2.5	11.2	収穫前作業除く
F	2.2	7.3	
G	3.8	17.3	
H	1.8	6.3	へた切り作業除く

各農家が作業負担度を上げない中で様々な工夫をして収穫していた。



情報交換しながら軽労働化を進めていく

### 4 今後の対応

- これまで取り組んだ課題解決策の定着化
- 新規就農者の営農技術向上に向け、更なる技術習得と今後の経営ビジョンの検討